

○戦略研究課題(H26終了)の事後評価

| 課題名 | 研究本部 | 研究期間 | 研究評価委員会の評価結果 | | | | 総合評価 | | |
|--------------------------------|------|--------|--------------|----|----|----|------------------------------------|----|------------------------------------|
| | | | 状況 | 内容 | 達成 | 活用 | 意見 | 評価 | 意見 |
| 北海道の総合力を活かした付加価値向上による食産業活性化の推進 | 農業 | H22-26 | b | b | b | b | 食産業活性化に向けて、道内企業へ成果の普及を進めるべき | B | 食産業活性化に向けて、道内企業へ成果の普及を進めること |
| 「新たな住まい」と森林資源循環による持続可能な地域の形成 | 森林 | H22-26 | b | b | b | b | 持続可能な地域形成に向けて森林産業と住宅産業の融合と振興を目指すべき | B | 持続可能な地域形成に向けて森林産業と住宅産業の融合と振興を目指すこと |

○循環税事業(H26終了)の事後評価

| 課題名 | 研究本部 | 研究期間 | 研究評価委員会の評価結果 | | | | 総合評価 | | |
|-----------------------------|------|--------|--------------|----|----|----|-----------------------------------|----|-----------------------------------|
| | | | 状況 | 内容 | 達成 | 活用 | 意見 | 評価 | 意見 |
| ホタテ貝殻・牛糞堆肥の安定製造技術と草地での施用法確立 | 農業 | H22-26 | b | b | b | b | 堆肥製造・利用システムの検討を進めるべき | B | 堆肥製造・利用システムの検討を進めること |
| 建設混合廃棄物のリサイクル推進に関する実態調査 | 建築 | H25-26 | b | b | b | b | 改善施策提案に向けた検討を行うべき | B | 改善施策提案に向けた検討を行うこと |
| 石灰質未利用資源を用いた高性能排煙処理剤の開発 | 産業技術 | H22-26 | b | b | b | b | 開発素材の実用化に向けて、コストの検討を進めるべき | B | 開発素材の実用化に向けて、コストの検討を進めること |
| ホタテウロの利用技術開発 | 産業技術 | H22-26 | b | b | b | b | コストを含めた実用化に向けた検討を進めるべき | B | コストを含めた実用化に向けた検討を進めること |
| 農業用廃プラスチックの再利用に関する研究 | 産業技術 | H24-26 | a | a | a | a | ボイラーの製品化を進め、循環システムについて地域への普及を図るべき | A | ボイラーの製品化を進め、循環システムについて地域への普及を図ること |

注: 研究評価委員会の評価結果の項目

事後評価 状況: 状況変化への対応の適切性、内容: 研究内容の妥当性、達成: 研究目標の達成度、活用: 成果の活用の可能性

中間評価 状況: 状況変化への対応の適切性、進捗: 研究の進捗状況・達成度、見込: 研究目標の達成見込み、活用: 成果の活用の可能性

○重点研究課題(H26終了)の事後評価

| 課題名 | 研究本部 | 研究期間 | 研究評価委員会の評価結果 | | | | 総合評価 | | |
|---|-------|--------|--------------|----|----|----|---------------------------------|----|---|
| | | | 状況 | 内容 | 達成 | 活用 | 意見 | 評価 | 意見 |
| 高度通信制御技術を活用した次世代型ポテトプランタの開発 | 農業 | H24-26 | b | b | b | b | プロトタイプ機について、実用化を進めるべき | B | プロトタイプ機について、実用化を進めること(追跡調査対象課題) |
| 新たな商品開発に向けたやまのいも「十勝3号」の品質評価と生産技術の確立 | 農業 | H24-26 | b | b | b | b | 客観的な品質評価方法を確立し、安定供給に向けて普及を目指すべき | B | 客観的な品質評価方法を確立し、安定供給に向けて普及を目指すこと(追跡調査対象課題) |
| 道北地域における食用かぼちゃ種子の安定生産体制の確立 | 農業 | H24-26 | b | b | b | b | 安定生産体制を構築するとともに、他産地への普及を進めるべき | B | 安定生産体制を構築するとともに、他産地への普及を進めること(追跡調査対象課題) |
| 道産小麦の用途拡大に向けた「ゆめちから」の高品質安定生産及びブレンド指針の策定 | 農業 | H24-26 | b | b | b | b | 得られた栽培条件・ブレンド指針の普及を進めるべき | B | 得られた栽培条件・ブレンド指針の普及を進めること(追跡調査対象課題) |
| 給餌型ウニ低温蓄養システムの開発 | 水産 | H24-26 | b | b | b | b | 事業化に向けて大量死とコストについての検討を進めるべき | B | 事業化に向けて大量死とコストについての検討を進めること(追跡調査対象課題) |
| 樹脂基材への金属皮膜形成技術の開発 | 産業技術 | H24-26 | b | b | b | b | 先進技術を勘案しながら開発した技術について普及を進めるべき | B | 先進技術を勘案しながら開発した技術について普及を進めること(追跡調査対象課題) |
| リバースエンジニアリングの迅速化を図る3次元CAD/CAMデータ作成支援システムの開発 | 産業技術 | H24-26 | b | b | b | b | 技術移転を進めて、広く開発現場への普及を進めるべき | B | 技術移転を進めて、広く開発現場への普及を図ること(追跡調査対象課題) |
| 北海道の津波災害履歴の研究 未解明地域を中心に | 環境・地質 | H24-26 | b | b | b | a | 得られた成果については、地域への普及も進めるべき | B | 得られた成果については、地域への普及も進めること(追跡調査対象課題) |

○重点研究課題(継続課題)の中間評価

| 課題名 | 研究本部 | 研究期間 | 研究評価委員会の評価結果 | | | | 総合評価 | | |
|--|-------|--------|--------------|----|----|----|--------------------------------|----|--------------------------------|
| | | | 状況 | 進捗 | 見込 | 活用 | 意見 | 評価 | 意見 |
| 冬季の道産葉菜類供給強化に向けた無加温ハウス生産流通体系の確立 | 農業 | H26-28 | b | b | b | b | 成果の普及に向けて、現地実証を加速するべき | B | 成果の普及に向けて、現地実証を加速すること |
| たまねぎ新品種「ゆめせんか」の加工特性解明と高品質安定生産技術確立による需要促進 | 農業 | H26-28 | b | b | b | b | 需要に対応できる安定生産技術を確立すべき | B | 需要に対応できる安定生産技術を確立すること |
| 道産コンブの生産安定化に関する研究 | 水産 | H25-28 | b | b | b | b | 個別に検討している成果を、戦略的に組み立てるべき | B | 個別に検討している成果を、戦略的に組み立てること |
| サケ稚仔魚の原虫病総合的予防技術の開発 | 水産 | H26-28 | b | b | b | b | 根本対策の確立に向けて、原虫病発生機構の解明を加速するべき | B | 根本対策の確立に向けて、原虫病発生機構の解明を加速すること |
| 林業用優良種子の安定確保に向けた採種圃整備指針の策定 | 森林 | H26-28 | b | b | b | b | 明確な整備指針を策定して、普及に向けて道庁と連携を進めること | B | 明確な整備指針を策定して、普及に向けて道庁と連携を進めること |
| 早生樹「ヤナギ」を活用した高品質シイタケの安定生産システムの開発 | 森林 | H26-28 | b | b | b | b | 実用化に向けた栽培条件の解明を加速するべき | B | 実用化に向けた栽培条件の解明を加速すること |
| 成熟化するトドマツ人工林材の用途適性評価と利用技術開発 | 森林 | H26-28 | b | b | b | b | 研究調査を加速し、利用モデルの明確化を進めるべき | B | 研究調査を加速し、利用モデルの明確化を進めること |
| 北海道産小豆粉の製造とそれを活用した食品製造技術の実用化に関する研究 | 産業技術 | H26-28 | b | b | b | b | 事業化に向けて試験・評価を加速するべき | B | 事業化に向けて試験・評価を加速すること |
| 火山体内部構造・熱水流動系のモデル化と火山活動度評価手法の高度化(十勝岳) | 環境・地質 | H26-28 | b | b | b | b | 観測値を積み上げて、モデルの構築に注力すべき | B | 観測値を積み上げて、モデルの構築に注力すること |